

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

かもしか年中児クラス便り

令和5年10月17日（火）

文責：山神 寿江

朝夕と急に冷え込むようになりました。半袖で過ごしていた子どもたちも、薄手の長袖や上着を着ての登園に秋らしさを感じる日々です。肌寒さもあり、鼻水や咳が出ている子どもたちの姿も見られます。体調の変化などありましたらお知らせください。またその日や朝夕と日中との気温差もあります。子どもたちが自分たちで寒暖を感じ衣服で調整できるようにと思いますので、薄手の上着などがあると、調整しやすいと思います。また長袖や靴下をはく子どもたちが増え、迷子の衣服も増えてきました。お忙しい中とは思いますが、名前の記入にご協力ください。

やればできる～魔法の言葉～

10月7日は子どもたちの楽しみにしていた運動会でした。天気も心配されましたが、子どもたちの競技中は天気も味方してくれ、最後まで種目をすべてできたことに嬉しく思います。運動会では「少し緊張する」と緊張を見せる子ども。「～が見に来てくれているんだ」と楽しみや嬉しさを見せてくれる子どもたちと様々でしたが、子どもたち一人ひとりがとてもいい表情で一生懸命取り組んでいた姿がとてもうれしく、また子どもたちの力、そして頼もしさを感じることでした。先月もクラスだよりで運動会に向けての様子をお伝えしました。今月は運動会まで、そして当日、運動会後の子どもたちの様子をお伝えできたらと思います。

運動会が近づくとつれ、どんどんやる気を見せる子どもたち、雲梯では一步一步ゆっくり自分のペースで取り組んでいました。竹馬では何度も転びながらも挑戦する子。頑張り豆や足の皮がむけて痛いといいながらもできるようにになりたい思いが強く挑戦を続ける子ども。時には思うようにできずに悔し涙を流している子どもたちもいました。しかしどんな時も「やればできる」を合言葉と一緒に取り組んできました。先月もお伝えしたように子どもたちの「少しのできた」を一緒に喜び、自信や意欲につながるようにと心がけ取り組んできました。当日自分で決めたことに一生懸命挑戦する子どもたちの姿に、今までの頑張りがしっかりと発揮できているとうれしく思い、子どもたちの頑張りに拍手です。運動会が終わり1週間が過ぎましたが、まだまだ運動会の熱は下がらず、雲梯、のぼり棒、鉄棒、竹馬と次の目標に向けて取り組む姿が見られます。「年長さんになったらソーラン節もやるんだよね」と年長児さんへの憧れいっぱいの子たちです。子どもたちのやる気、憧れを大切に見守り、また必要に応じ、手を差し伸べることで、子どもたちの挑戦してみよう、やればできるを大切にこれからも子どもたちと一緒に過ごしていきたいです。

運動会の前日の準備、当日の係や、片付けとたくさんのご協力ありがとうございました。また運動会中も温かい声援に子どもたちのやる気もアップしたことでしょう。ありがとうございました。

（竹馬の準備本当にありがとうございました）

<おしらせ・お願い>

- ・週末に靴を持ち帰ります。靴を入れる袋を持たせてください。
- ・肌寒さを感じる日が増えてきました。午睡では、敷布団と薄手の毛布を使用しますので、準備をお願いいたします。
- ・毎日の水筒の準備ありがとうございました。保護者のみなさまのおかげで、子どもたちもこの夏元気に過ごすことができました。水筒持参は10月いっぱいまでとなります。11月からは園のお茶を飲んでいきます。今まで同様、こまめな水分補給を呼び掛けていきます。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 **解決 責任者** 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友里子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)